

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公表番号】特表2011-501230(P2011-501230A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-530928(P2010-530928)

【国際特許分類】

G 10 L 19/00 (2006.01)

H 04 S 5/02 (2006.01)

【F I】

G 10 L 19/00 400Z

H 04 S 5/02 Z

G 10 L 19/00 213

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月20日(2012.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

n個(nは整数)の主オーディオオブジェクトと副オーディオオブジェクトがダウンミックスされたダウンミックス信号および前記ダウンミックスによるn個の残余信号(residual signal)を含むビットストリームを受信するステップであって、前記n個の残余信号は、前記n個の主オーディオオブジェクトのそれぞれに対応する、ステップと、

前記残余信号を利用して前記ダウンミックス信号から前記主オーディオオブジェクトと前記副オーディオオブジェクトを復元するステップと

を含み、

前記復元するステップは、

前記n個の残余信号のうち、m番目(mはn以下の整数)の残余信号と、まだ復元されていない主オーディオオブジェクトと副オーディオオブジェクトがダウンミックスされたダウンミックス信号を用いて前記n個の主オーディオオブジェクトのうち、前記m番目の残余信号に対応するm番目の主オーディオオブジェクトを復元し、前記m番目の主オーディオオブジェクトが復元された後のダウンミックス信号を出力する第1ステップと、

前記n個の主オーディオオブジェクトの全ておよび前記副オーディオオブジェクトを復元するまで、前記n個の残余信号のうち、m+1番目の残余信号と、前記第1ステップにより出力されたダウンミックス信号とを用いて前記n個の主オーディオオブジェクトのうち、前記m+1番目の残余信号に対応するm+1番目の主オーディオオブジェクトを復元し、前記m+1番目の主オーディオオブジェクトが復元された後のダウンミックス信号を出力する過程を順次繰り返す第2ステップと

を含むことを特徴とするマルチオブジェクトオーディオ復号化方法。

【請求項2】

前記nは2であることを特徴とする請求項1に記載のマルチオブジェクトオーディオ復号化方法。